



2024年

11月11日(月)

10:00~12:00

会場:北九州市立大学

フランキー・ウー アジア国際交流ホール
カンファレンスルーム(地図は裏面へ)

主催:コラボラキャンパスネットワーク

NOボランティア NOライフ!

“ボランティアの未来”は、
どうなっていくんだろう?

あなたはボランティアにどんなイメージを持っていますか?

ボランティアについてのとらえ方は、多様です。

こどもから「これだけ忙しいのに、どうして、時間をつくって、そんなこと(ボランティア)をしているの?」といわれた人もいます。また、「一部の余裕のある人がすること」というとらえ方もあるようです。

ボランティアって、いったいなんなのでしょう?

暮らしのなかで、息をするように、かまわずボランティアをしている人たちがいます。生産性や、コスパ、タイパが気にされる現状で、わざわざ、ボランティアをしているのはなぜ?

3人の方の思いをうかがいつつ、恒吉紀寿先生(北九大)にも“ボランティアの未来をつくる3つのタネ”についてお話いただきます。

★参加費:一般500円 学生100円 ★定員 先着40名

★託児(同室):先着15名(1人200円)締切:11月1日

★登壇者:①小代智昭(おじろともあき)さん(小倉南区)

②鐘ヶ江和湖(かねがえわこ)さん(北九大4年)

③山下篤代さん(やましたあつよ)さん(小倉北区)

コメンテーターとお話:恒吉紀寿先生(北九州市立大学文学部教授社会教育学)

申込(託児は10月3日申込開始):070-5532-5082 イワマル

haru2020@jcom.home.ne.jp



★登壇者:

①小代智昭さん(小倉南区在住)

東日本大震災で友人が被災したことで防災活動の重要性を感じ、家庭教育学級や校区を通じて防災講座を開催しています。また、ボランティアを行う事で様々な人と出会い、人生が豊かになりました。趣味は「釣り」で主にカワハギをメインターゲットに旬の魚を釣っています。座右の銘は「NOVA-FRONTIER」(新開拓者)で何事にも挑戦し新たな道を切り開く事を信念に日々チャレンジしています。

②鐘ヶ江和湖さん(北九大4年・小倉南区在住)

学内での多世代交流のお手伝いや子どもの遊び場づくりに参加しています。大学2年生の頃から約3年間、ボランティア活動に参加。たくさんの人たちとの交流を通して、様々な生き方や考えに触れる貴重な時間を過ごしています。好きな言葉は「十人十色」と「幸福」。人それぞれの考えや感覚に刺激を受けながら、対話や日常生活の中に小さな幸せを見つけるのが大好きです。

③山下篤代さん(小倉北区在住)

市民センターの子育てボランティア、まちづくり協議会青少年部、町内の子どもを対象にした「食育の会」、プレイセンター・元気キッズなど、主に子どもに関わる活動でボランティアをしています。座右の銘は「迷った時は、楽しい方を選ぶ」。知らないこと、新しいことを始める時はワクワクします。新聞で「忙しいって、しあわせ～」という投稿に共感し、忙しくしていただけることに喜びを感じています。

コメンテーターとお話:

恒吉紀寿先生(北九州市立大学文学部教授 社会教育学)

子ども・子育てから地域づくりなど、自分の経験や思いを活動や運動?にしてきました。そこで出会う人や社会が自分の人生の”学び”や”縁”となり感謝しています。仕事で出会う人と異なって、ボランティアで出会う人とは、その時、その時期だけでなく付かず離れず長い関係を築けるって不思議です(笑)

★★ 大学構内には駐車できません。公共交通機関をご利用ください ★★

